

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月6日

 上場会社名 りらいあコミュニケーションズ株式会社
 コード番号 4708 URL <https://www.relia-group.com/>

上場取引所 東

 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 網野 孝
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 岩本 健一郎

TEL 03-5351-7200

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	29,885	7.4	2,043	80.5	2,050	75.5	1,394	141.9
2019年3月期第1四半期	27,829	3.5	1,132	19.8	1,168	20.1	576	3.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,305百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 855百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	20.24	
2019年3月期第1四半期	8.37	

(参考) のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2020年3月期第1四半期 1,494百万円 (50.1%) 2019年3月期第1四半期 995百万円 (0.1%)

調整後EPS 2020年3月期第1四半期 21.68円 2019年3月期第1四半期 14.45円

(注) 調整後EPS : のれん償却前当期純利益 / (期末発行済株式数 - 期末自己株式数)

四半期においては、「当期」を「四半期」、「期末」を「四半期末」に読み替えて計算

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	56,400	37,729	66.9	547.39
2019年3月期	55,755	37,814	67.8	548.62

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 37,726百万円 2019年3月期 37,811百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		18.00		18.00	36.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		18.00		18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,000	0.2	7,600	37.5	7,600	35.8	5,200		75.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) のれん償却前当期純利益 2020年3月期通期 5,600百万円 (19.5%) 調整後EPS 2020年3月期通期 81.25円

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	69,503,040 株	2019年3月期	69,503,040 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	582,172 株	2019年3月期	582,172 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	68,920,868 株	2019年3月期1Q	68,920,895 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は基調としては緩やかに拡大を続けました。海外経済は米国の通商政策などを背景に減速の動きがみられますが、総じて緩やかな成長を続けました。当社グループが属するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)業界では、急速なデジタル化の進展、働き方改革など企業が直面する課題解決のためアウトソーシング需要が堅調に推移しました。

こうした中、当社グループは、中期経営計画である「事業戦略2020」の達成に向け、「4つのイノベーションによる収益構造の変革」「ポートフォリオ見直しも含めた採算管理の徹底」「採用・育成強化、離職率抑制による、生産性の向上」に取り組みました。また、2019年2月に発生した不適切な会計処理に対する再発防止に向け、再発防止対策委員会にて策定した各種施策を順次実行に移しました。

売上面では、バックオフィス事業において一部業務の終了等の影響があったものの、コンタクトセンター事業では公益、金融、流通向けなどを中心に堅調に推移し、連結売上高は前年同四半期を上回りました。また、利益面では、スポット業務の受託やのれん償却費の減少に加え、新規受注時の採算性確認プロセスの強化や既存業務の採算管理の徹底も寄与し、営業利益は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は29,885百万円(前年同四半期比7.4%増)、営業利益は2,043百万円(同80.5%増)、経常利益は2,050百万円(同75.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,394百万円(同141.9%増)となりました。

また、当第1四半期連結累計期間ののれん償却前営業利益(営業利益+のれん償却額)は、2,143百万円(同38.2%増)、のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)は、1,494百万円(同50.1%増)となりました。

当社はInspiro Relia, Inc.等の買収に伴うのれん償却費用の影響等を鑑み、のれん償却前営業利益、のれん償却前純利益を経営指標として採用しております。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

コンタクトセンター事業

公益向けでは前年度に引き続きエネルギーシステム改革に伴う需要を取り込んだほか、流通、金融向けを中心に堅調に推移しました。その結果、当事業の売上高は25,111百万円(同11.1%増)、セグメント利益は1,777百万円(同94.5%増)となりました。

バックオフィス事業

前年同四半期にあった一部業務の終了等の影響もあり、当事業の売上高は3,512百万円(同3.6%減)、セグメント利益は218百万円(同10.7%増)となりました。

フィールドオペレーション事業

前年度に引き続き事業の体質改善を目的に選別受注を進めるなどした結果、当事業の売上高は1,261百万円(同20.1%減)、セグメント利益49百万円(同137.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、56,400百万円となり、前連結会計年度末比644百万円の増加となりました。主な増加は、現金及び預金94百万円、仕掛品36百万円、有形固定資産1,762百万円であり、主な減少は、受取手形及び売掛金461百万円、のれん100百万円、投資その他の資産961百万円です。

負債は、18,670百万円となり、前連結会計年度末比728百万円の増加となりました。主な増加は、買掛金170百万円、賞与引当金471百万円であり、主な減少は、短期借入金500百万円、未払金472百万円、未払法人税等50百万円です。

純資産は、37,729百万円となり、前連結会計年度末比84百万円の減少となりました。主な増加は、親会社株主

に帰属する四半期純利益1,394百万円であり、主な減少は、剰余金の配当金による支払1,240百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の67.8%から66.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に「2019年3月期 決算短信」で開示しました業績予想に変更ありません。

※業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまに要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,659	16,754
受取手形及び売掛金	17,827	17,366
仕掛品	1,418	1,454
貯蔵品	28	15
その他	2,314	2,530
貸倒引当金	△34	△35
流動資産合計	38,214	38,085
固定資産		
有形固定資産	4,654	6,416
無形固定資産		
のれん	3,086	2,985
その他	812	884
無形固定資産合計	3,898	3,870
投資その他の資産	8,988	8,027
固定資産合計	17,541	18,314
資産合計	55,755	56,400
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,109	3,280
短期借入金	500	—
未払金	7,640	7,167
未払法人税等	921	870
賞与引当金	975	1,446
役員賞与引当金	43	13
資産除去債務	—	10
その他	3,157	2,794
流動負債合計	16,346	15,582
固定負債		
役員退職慰労引当金	20	20
退職給付に係る負債	445	444
資産除去債務	1,099	1,095
その他	30	1,527
固定負債合計	1,595	3,087
負債合計	17,941	18,670

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	998	998
資本剰余金	1,112	1,112
利益剰余金	34,497	34,502
自己株式	△592	△592
株主資本合計	36,015	36,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	27
繰延ヘッジ損益	79	71
為替換算調整勘定	1,796	1,793
退職給付に係る調整累計額	△109	△186
その他の包括利益累計額合計	1,795	1,705
非支配株主持分	2	2
純資産合計	37,814	37,729
負債純資産合計	55,755	56,400

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	27,829	29,885
売上原価	23,836	25,246
売上総利益	3,992	4,639
販売費及び一般管理費	2,860	2,595
営業利益	1,132	2,043
営業外収益		
受取利息	5	14
受取配当金	3	3
受取手数料	5	5
受取補償金	38	—
持分法による投資利益	1	8
その他	9	1
営業外収益合計	63	32
営業外費用		
支払利息	0	25
為替差損	26	—
その他	0	0
営業外費用合計	27	26
経常利益	1,168	2,050
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
関係会社株式売却損	89	—
投資有価証券評価損	344	—
その他	30	—
特別損失合計	465	—
税金等調整前四半期純利益	703	2,050
法人税、住民税及び事業税	120	701
法人税等調整額	8	△46
法人税等合計	128	655
四半期純利益	575	1,395
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	576	1,394

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	575	1,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△1
繰延ヘッジ損益	△64	△8
為替換算調整勘定	△1,373	△4
退職給付に係る調整額	7	△76
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	△1,430	△89
四半期包括利益	△855	1,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△854	1,305
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している一部の在外子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が1,728百万円増加し、流動負債の「その他」が341百万円及び固定負債の「その他」が1,498百万円増加しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は149百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンタクトセ ンター事業	バックオフィ ス事業	フィールドオ ペレーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,607	3,642	1,579	27,829	—	27,829
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	4	3	8	△8	—
計	22,608	3,647	1,582	27,838	△8	27,829
セグメント利益	914	197	20	1,132	0	1,132

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンタクトセ ンター事業	バックオフィ ス事業	フィールドオ ペレーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,111	3,512	1,261	29,885	—	29,885
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	4	34	40	△40	—
計	25,112	3,517	1,296	29,926	△40	29,885
セグメント利益	1,777	218	49	2,045	△1	2,043

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。